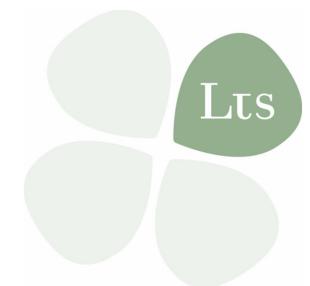


# 2018年12月期 決算説明資料 (東証マザーズ 6560)

2019/2株式会社エル・ティー・エス

### 目次.

- 1. 2018年12月期 決算概要
- 2. 今後の成長
- 3. 2019年12月期 見通し
- 4. 参考資料



# ハイライト



# 売上・営業利益とも過去最高

(売上高:2,989百万円 営業利益:270百万円)

- ▶ デジタル活用サービスが堅調に拡大
- ▶ アサインナビ会員が順調に増加 (法人3,249社 個人3,609名)
- ▶ 2年連続増収増益(売上高前年比24.1%増/営業利益前年比46.7%増)

※すべての数値は100万円未満切り捨て。(以下同様)

# 2018年12月期の連結決算実績\_P/L



(百万円)	2017年12月期	2018年12月期	前年同期差	前年同期比
売上高	2,408	2,989	+ 581	+ 24.1 %
売上総利益	1,009	1,196	+ 186	+ 18.5 %
売上総利益率	41.9 %	40.0 %	- 1.9 Points	-
販売費及び一般管理費	825	925	+ 100	+ 12.2 %
営業利益	184	270	+ 86	+ 46.7 %
営業利益率	7.7 %	9.0 %	+ 1.3 Points	-
経常利益	174	269	+ 95	+ 54.4 %
特別利益	-	-	-	-
特別損失	-	-	-	-
税金等調整前当期純利益	174	269	+ 95	+ 54.4 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	119	184	+ 65	+ 54.8 %

### 2018年12月期 決算ハイライト\_売上高



### 売上高は引き続き堅調に拡大



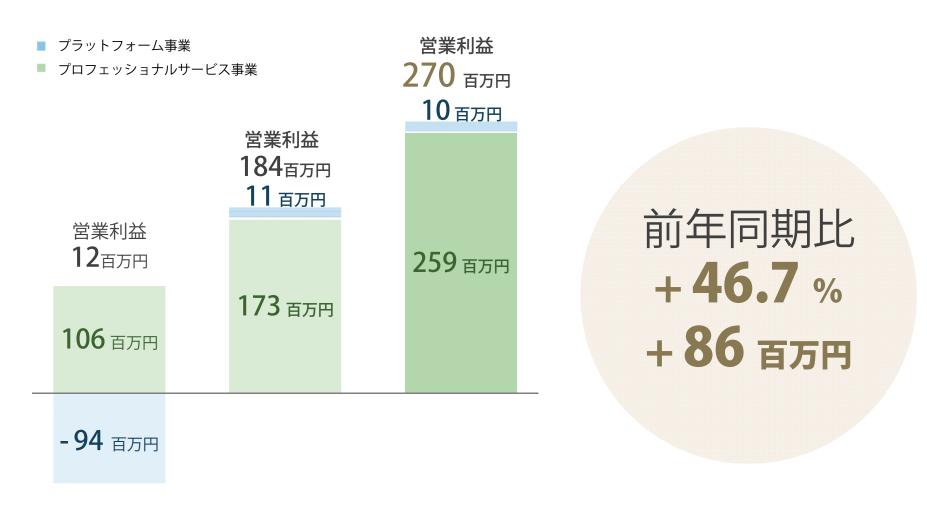
前年同期比 + 24.1% + 581 百万円

※3期ともプラットフォーム事業の売上高には セグメント間の内部売上高を含む。

# 2018年12月期 決算ハイライト\_営業利益



### 営業利益も引き続き堅調に拡大



2016年12月期

2017年12月期

2018年12月期

# 2018年12月期 \_プロフェッショナルサービス事業(業績)」、



### デジタル活用サービス継続拡大

売上高前年同期比:77.8%增

コンサルティング・ビジネス プロセスマネジメントも順調に拡大

	2017年12月期	2018年12月期	前年同期差	前年同期比
売上高	2,260 百万円	2,855 百万円	+ 594 百万円	+ 26.3 %
営業利益	173 百万円	259 百万円	+86百万円	+ 49.9 %

### 2018年12月期\_プラットフォーム事業 (業績)





### 黒字基調・会員数拡大

法人会員数: 3,249社

個人会員数:3,609名

### 会員向けサービス拡充

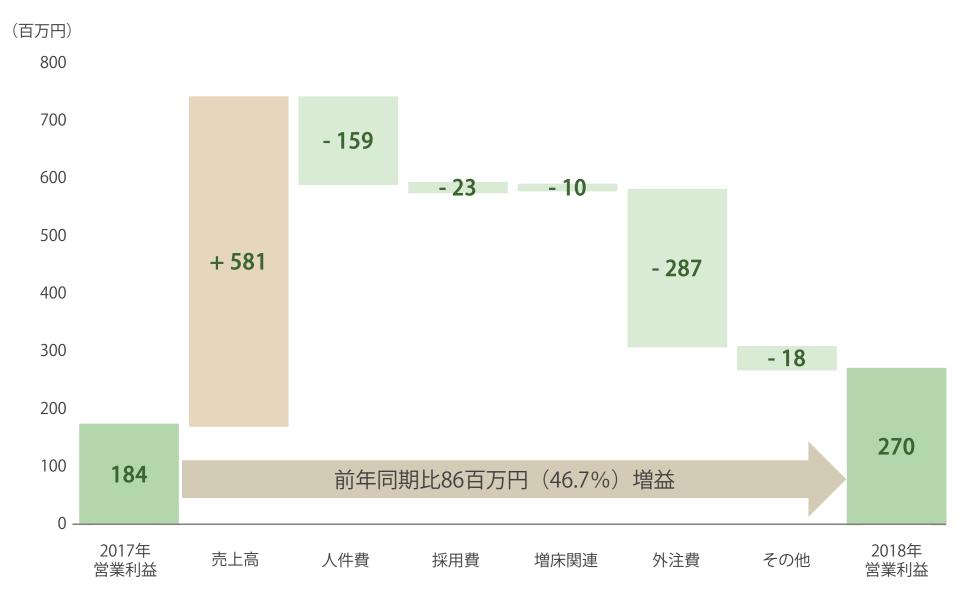
イベント・研修・採用 等

会費等売上は順調に拡大(前期は会費以外で特需あり)

	2017年12月期	2018年12月期	前年同期差	前年同期比
売上高	165 百万円	154 百万円	- 10 百万円	-6.6 %
営業利益	11 百万円	10 百万円	- 0.3 百万円	- 3.5 %

# 2018年12月期 連結営業利益増減要因





### 事業連携の具体例



#### 「アサインナビ」会員企業のリソースをプロフェッショナルサービスに活用

プロフェッショナルサービスを提供する際に、「アサインナビ」会員企業のリソースを活用することで、より多くの顧客課題の解決に取り組み、企業変革を実現。

顧客課題に対応できる 「アサインナビ」 会員企業を集める



課題に合わせたリソース・ ソリューションを提供



assign navi





実践的な研修 プログラムを提供



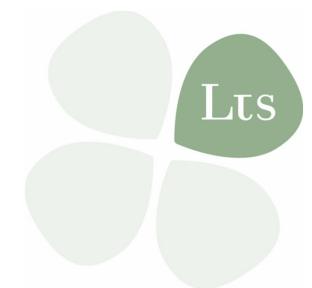
LTSのデータ サイエンティストによる 研修プログラムを開発

### データサイエンティストの研修プログラムを「アサインナビ」会員向けに提供

顧客のデジタルテクノロジー活用に必須であるものの、労働市場全体で絶対数が不足しているデータサイエンティストの研修プログラムを「アサインナビ」会員企業に提供し、人材不足を改善。

### 目次.

- 1. 2018年12月期 決算概要
- 2. 今後の成長
- 3. 2019年12月期 見通し
- 4. 参考資料



# 事業構成



### 両事業ともに、複数の収益基盤を持つことで安定的な事業成長を実現

	— 提供サービス —	サービス内容	収益モデル
アップサイド	クラウドソーシング	プロフェッショナル人材と 案件のマッチング	会費+
プラットフォーム 事業	会員サービス	教育・研修 採用・転職など	サービスフィー型
	データサービス	IT企業の信用情報の 可視化・提供	(2019年リリース予定)
安定成長	コンサルティング	企業変革支援	プロジェクト型
プロフェッショナル サービス事業	デジタル活用 サービス	ロボティクス・AIの 業務活用	,
	ビジネスプロセス マネジメント	経営と業務の 可視化・改善	長期支援型 (ストック収益)

# プロフェッショナルサービス事業の特徴



一気通貫の変革支援により顧客を深耕し、先進テーマにおける支援実績を蓄積

#### 事業モデル ―――

コンサルティング・ デジタル活用サービス

プロジェクト



長期支援

ビジネスプロセス マネジメント 独自性・強み・

業務・経営課題の 可視化

長期的な顧客関係、持続的な変革サイクルの創出

変革サイクルのグリップ (課題選定・予算化等)

先進的な案件機会、 新規顧客への訴求力獲得

#### 主要顧客

- 伊藤忠商事株式会社
- オリックス株式会社
- 日産自動車株式会社
- 矢崎総業株式会社
- DIC株式会社

#### 主要テーマ

- 働き方改革
- ロボティクス活用
- AI活用

#### 新規顧客(2017~18年)

- 日清オイリオグループ株式会社
- ヤマハ発動機株式会社
- メガバンク
- ・ 大手コンビニ 他

### デジタル活用を取巻く企業動向



多くの企業でデジタル本格活用が加速し、市場のボリュームゾーンを形成

大手企業 中堅・中小企業 テクノロジー企業

デジタル 先進 企業群

効率化に 向けた デジタル活用 事業拡大に 向けた デジタル活用

デジタル 試行〜活用 企業群

デジタル本格活用に向けたBPR

RPAを中心にPOCが終了/ プロジェクトが大型・長期化

デジタル 検討〜試行 企業群

デジタル活用に 向けた 業務整理・評価 デジタル活用に 向けた 検討・調査 POC・ 本格活用を 通じた選別・ 棲み分け

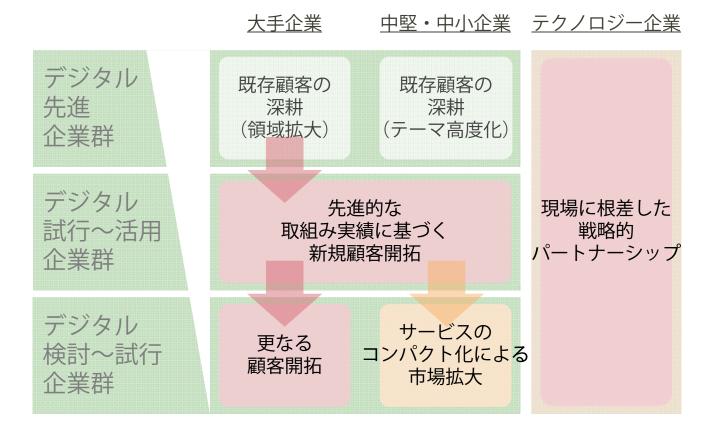
<u>デジタル活用の</u> <u>推進課題</u> デジタル活用における 多種多様な先行事例

業務プロセス・テクノロ ジー双方に精通した人材

# デジタル活用領域におけるLTS成長シナリオ



既存顧客を地盤としたスケールアップ・ブランド構築による成長を目指す



LTSの取組テーマ

継続的な顧客基盤の強化

長期的な サービス開発 戦略的な事業基盤の強化

デジタル×BPMブランドの確立とそれを活かした採用・育成

### 戦略的な事業基盤の強化(1/2)



# FPTジャパンホールディングス株式会社と業務提携

- RPA・AIなどのデジタルトランスフォーメーション案件を中心 に両社の拠点・顧客基盤を活用
- 資本提携・合弁会社設立を今後検討予定



FTPジャパンホールディングス 株式会社

- FPTソフトウェア日本法人
- 2005年11月設立
- 日本国内に子会社5社
- 連結 1,391名

日本国内に10拠点

### 戦略的な事業基盤の強化(2/2)



# 提携・協業によるテクノロジー企業との連携

● デジタルビジネス推進・拡大に向けた提携・協業を推進中

2018年 提携・協業に関するプレスリリース

RPA LTSがRPAツール「UiPath」の 開発リソースパートナーに認定

RPA

2018年8月23日

RPA導入支援拡大に向けたミャンマー でのオフショア開発を開始

- loT

2018年10月16日

Microsoft Azure向けloTプラットフォームを提供 するアジュールパワー株式会社との協業を開始

2018年9月25日 ERP・RPA 主ザる「C

ERP・RPA導入時の業務コンサルティング 支援で「GRANDIT」との協業を開始 SEC

2018年11月27日

株式会社GRCSとガバナンス・ 情報セキュリティ分野で業務提携

2018年8月28日

デジタルシフト・生産性向上を実現する テクノロジースタートアップ企業との資本・業務提携プログラムを開始

# プロフェッショナルサービス事業の成長



大手企業における支援実績をフックに、残る市場開拓余地にアプローチ

#### 顧客基盤の拡大戦略

#### 大手企業 (売上規模1,000億円超)

中堅·中小企業 (売上規模10億円超1,000億円以下)



既存顧客を深耕しつつ、 ロボティクス・AI、働き方改革の 支援を中心に新規顧客を獲得



大手企業における支援実績を コンパクト化し、アサインナビ 中堅企業会員に向け提供

(出典) リスクモンスター 『都道府県別・売上高別企業数』 (http://www.riskmonster.co.jp/anamon/pdf/area sales201806.pdf)

# プラットフォーム事業の特徴



大手企業を中心とした会員基盤により、プラットフォームの成長サイクルを実現

#### 事業モデル

### マッチング

assign navi 企業 人材

### データの蓄積

- 企業情報 技術情報
- 案件情報 人材情報
- 評価/評判・・・等



#### 独自性・強み

大手IT企業・事業会社を 中心とした会員基盤

案件・プロフェッショナル 人材の獲得、マッチングの充実

会員情報の蓄積、業界の可視化

会員サービスの 開発・提供

#### 主要利用企業

- PwC Japan
- 株式会社シグマクシス
- 三井情報株式会社
- フューチャーアーキテクト株式会社
- 株式会社リクルートテクノロジーズ

#### 利用状況

- 登録企業 3,249社 年間案件登録数 12,391件
- 登録プロフェッショナル 3,609名 年間スカウト数 15,765通

#### 主要サービス

- アサインナビ
- コンサルタントジョブ
- コンサルタントライフ
- 教育·研修
- データサービス

### プラットフォーム事業のサービス



### 人と企業の成長創造インフラを実現するサービスを企画・提供

サービス

サービス群

マッチング サービス



アサインナビ

コンサルタントジョブ

コンサルタントライフ

準備中

教育·研修

- 取引信用情報の提供

2019年リリース

- IT業界の企業と個人のマッチング
- 会員基盤の拡大、利活用の促進、 マッチング品質の向上
- フリーコンサルタント向け案件紹介
- 案件/プロフェッショナル人材の獲得 と、マッチング品質の向上
- コンサルタント(フリーコンサルタント、コンサルティング会社社員など)向け総合キャリアサポート(転職・独立・教育)
- データサイエンティスト、IT/ビジネス コンサルタント、営業の育成
- ・ 受発注におけるIT企業の信用評価・評 判情報を口コミ等で可視化
- 情報の質・量の向上と、ビッグデータを活用した評価アルゴリズムの構築

会員 サービス



データ サービス



### プラットフォーム事業の成長



大手IT企業会員をフックにプロフェッショナル人材・ テクノロジーを獲得し、会員基盤を拡大

#### 会員基盤の拡大戦略

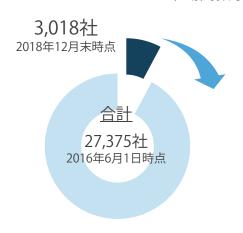
#### IT・テクノロジー 企業会員

プロフェッショナル会員 (フリーランス人材) 事業会社会員 (売上規模10億円超)

■アサインナビシェア ■市場開拓余地

■アサインナビシェア ■市場開拓余地

■アサインナビシェア ■市場開拓余地



3,609人 2018年12月末時点 合計 61万人 2018年2月時点



エンタープライズ版の提供による大手IT企業の利用促進・成長企業の獲得

大手企業案件・ コンサルタントジョブをフックに プロフェッショナル人材を獲得 プロフェッショナル人材・ データサービスをフックに 事業会社を獲得

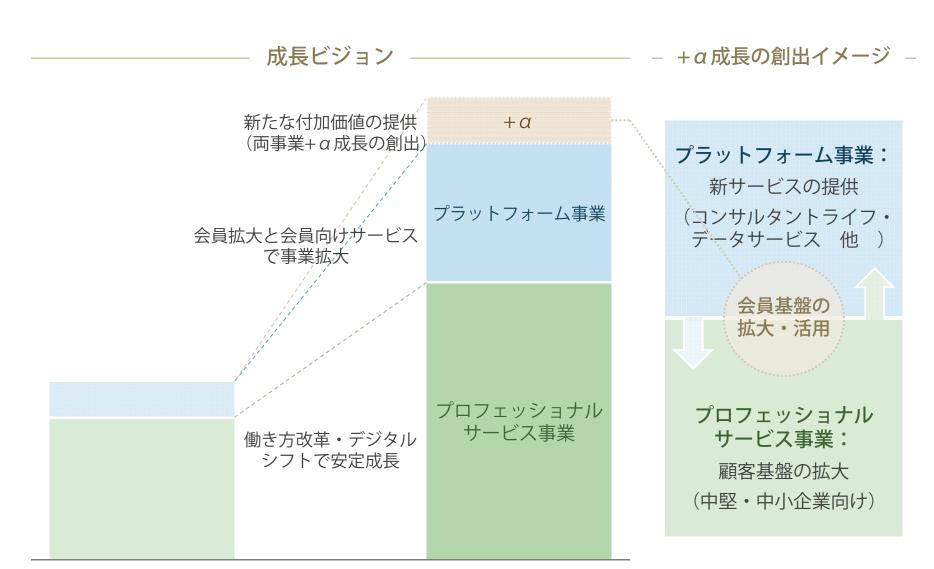
(出典)総務省 『平成28年経済センサス-基礎調査 確報集計 企業等に関する集計』 (出典) ランサーズ株式会社 『【ランサーズ】フリーランス実態調査2018年版 "自由業系フリーワーカー"』

(出典)リスクモンスター 『都道府県別・売上高別企業数』 (http://www.riskmonster.co.jp/anamon/pdf/area\_sales201806.pdf)

### 事業連携による+α成長



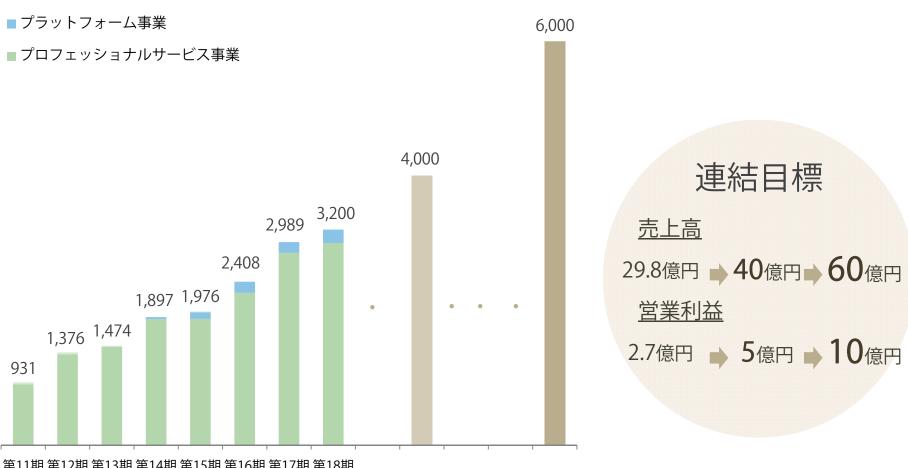
プラットフォーム事業における会員基盤の拡大を核に、両事業の+α成長を創出



# 当面の成長ターゲット



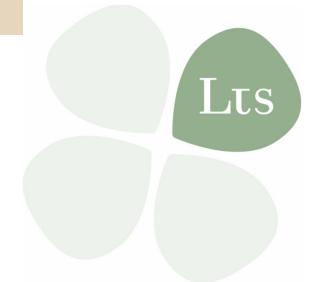
#### (百万円)



第11期 第12期 第13期 第14期 第15期 第16期 第17期 第18期 2012年 2013年 2014年 2015年 2016年 2017年 2018年 2019年

### 目次.

- 1. 2018年12月期 決算概要
- 2. 今後の成長
- 3. 2019年12月期 見通し
- 4. 参考資料



# 2019年の連結見通し\_P/L



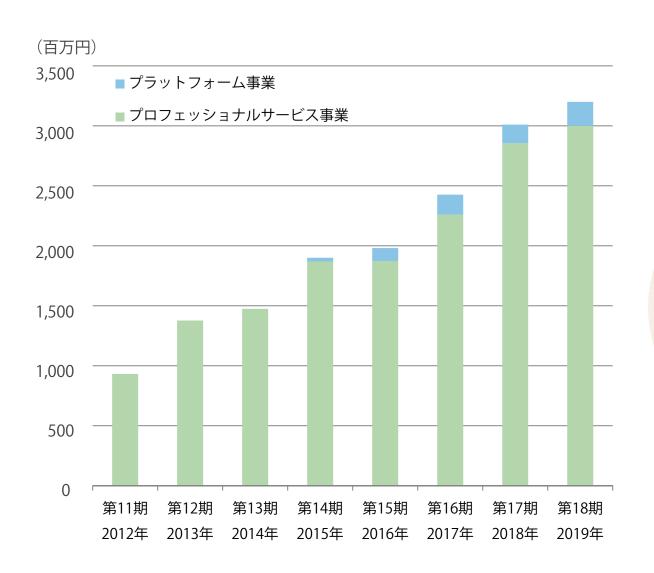
増収増益見込み (売上高7.0%増、営業利益11.0%増)

(百万円)	2018年度 実績	2019年度 見通し	前年度差	前年度比
売上高	2,989	3,200	+ 210	+ 7.0 %
営業利益	270	300	+ 29	+ 11.0 %
営業利益率	9.0 %	10.0 %	+ 1.0 Points	-
経常利益	269	295	+ 25	+ 9.4 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	184	200	+ 15	+ 8.2 %

### 2019年の連結見通し\_売上高



### 8年連続の増収見込み



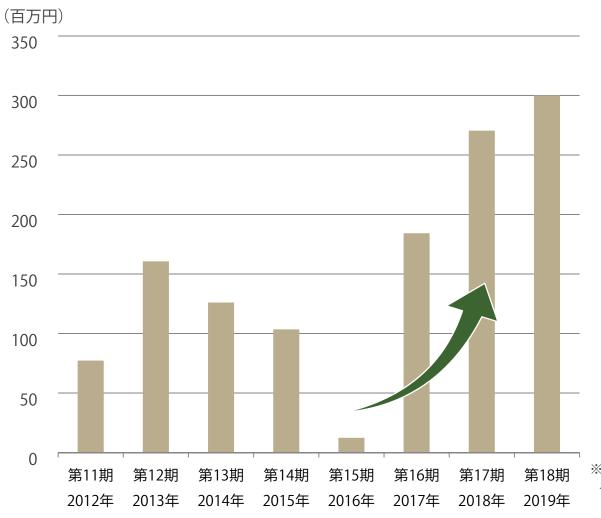
年平均成長率 + **19.2%** (2012~19年度)

> ※第11期(2012年度)から 第13期(2014年度)までは単体数値 第14期(2015年度)以降は連結数値。

### 2019年の連結見通し\_営業利益



### 最高益の更新見込み



年平均成長率 + **21.3%** (2012~19年度)

※第11期(2012年度)から第13期(2014年度)までは 単体数値、第14期(2015年度) 以降は連結数値。

### 2019年のセグメント別見通し



### プロフェッショナルサービス事業

前倒しで成長投資を行うが、引き続き増収増益となる見通し

	2018年度 実績	2019年度 見通し	前年度差	前年度比
売上高	2,855 百万円	3,000 百万円	+ 144 百万円	+ 5.1 %
営業利益	259 百万円	280 百万円	+ 20 百万円	+7.9 %

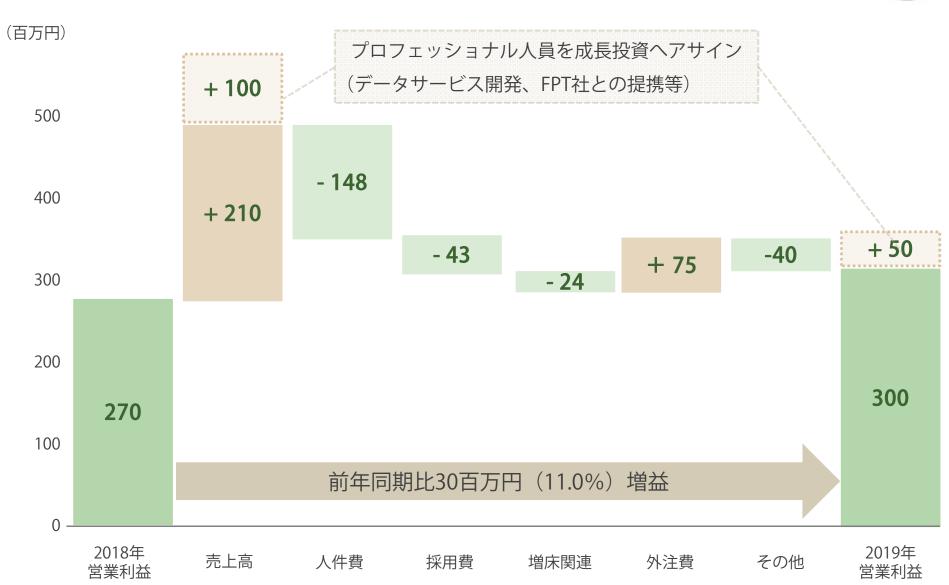
### プラットフォーム事業

データサービス立ち上げ等成長投資を行うが、**増収増益**となる見通し (短期的な収益よりも中期的な拡大を目指す)

	2018年度 実績	2019年度 見通し	前年度差	前年度比
売上高	154 百万円	200 百万円	十 45 百万円	+ 29.1 %
営業利益	10百万円	20 百万円	十 9 百万円	+ 85.7 %

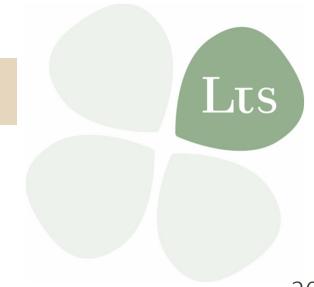
### 2019年12月期 連結営業利益増減要因





### 目次.

- 1. 2018年12月期 決算概要
- 2. 今後の成長
- 3. 2019年12月期 見通し
- 4. 参考資料



# 2018年12月期の連結決算実績\_B/S



(百万円)	2017年12月期	2018年12月期	増減額
流動資産	1,622	1,798	+ 176
(現預金)	1,147	1,283	+ 136
固定資産	83	93	+ 9
総資産	1,706	1,892	+ 185
流動負債	605	515	- 89
(未払法人税等)	62	54	- 8
固定負債	51	30	- 20
純資産	1,049	1,346	+ 296

# 2018年12月期の連結決算実績\_キャッシュフロー計算書



(百万円)	2017年12月期	2018年12月期	2018年度主な内訳
営業 キャッシュフロー	375	94	<ul> <li>税金等調整前当期純利益 +269</li> <li>売上債権の増減額 - 29</li> <li>未払金の増減額 -100</li> </ul>
投資 キャッシュフロー	- 7	- 42	・有形固定資産の取得による支出 -31
財務 キャッシュフロー	350	84	・株式の発行による収入 +112
現金及び現金同等物の増減額	718	136	• -
現金及び 現金同等物の期末残額	1,047	1,183	• -

### LTSの概要



### 株式会社エル・ティー・エス

代表 : 代表取締役社長 樺島 弘明

設立 : 2002年3月

資本金 : 496,760,600円 (2018年12月31日時点)

所在地 東京都新宿区新宿2-8-6 KDX新宿286ビル 3階

**従業員数** : 208名 (2018年12月31日時点)

事業内容 : プロフェッショナルサービス事業

プラットフォーム事業

子会社 ・ 株式会社アサインナビ

(2018年12月31日時点) LTS ASIA CO., LIMITED (所在地:香港)

加入団体 - 一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会(JUAS)

(2018年12月31日時点) 一般社団法人企業情報化協会(IT協会)

一般社団法人 情報サービス産業協会(JISA)

一般社団法人日本ビジネスプロセス・マネジメント協会

一般社団法人 PMI日本支部(PMI Japan Chapter)

オープン・グループ(The Open Group)

IAOP (International Association of Outsourcing Professionals)

### 役員紹介



代表取締役社長

1998年 アイエヌジー生命保険株式会社 (現 エヌエヌ生命保険株式会社)入社

2000年 株式会社IQ3 入社

2001年 株式会社ラーニング・テクノロジー・

コンサルティング 入社

慶応義塾大学 卒

Hiroaki Kabashima

2002年 当社設立 取締役

2002年 当社代表取締役社長

2008年 キープライド株式会社

(現 株式会社アサインナビ) 取締役

取締役副社長

李 成一

Sungil Lee

東京大学 卒

1998年 アンダーセンコンサルティング株式会社

(現アクセンチュア株式会社)入社

2000年 株式会社IQ3 入社

2001年 株式会社ラーニング・テクノロジー・

コンサルティング 入社

2002年 当社設立 取締役

2005年 当社 取締役副社長

取締役

吉田

Yoshiaki Yoshida

早稲田大学 卒

1992年 アンダーセンコンサルティング株式会社

(現 アクセンチュア株式会社)入社

1995年 フィアットオートジャパン株式会社 入社

1998年 朝日アーサーアンダーセン株式会社 (現 PwCコンサルティング合同会社)入社

2003年 当社 入社 2005年 当社 取締役

2008年 キープライド株式会社

(現株式会社アサインナビ) 代表取締役社長

取締役

高麗 貴志

Takashi Koma

慶応義塾大学 卒

1999年 監査法人トーマツ

(現有限責任監査法人トーマツ) 入所

2006年 当社入社

2007年 当社 執行役員 2007年 当社 取締役

2014年 キープライド株式会社

(現株式会社アサインナビ) 監査役

1. 在籍期間3年以上(グループ企業内の出向・転籍を除く)入社歴

※監査役の経歴については、以下の基準に基づく略歴を記載。

2. グループ企業を含む在籍期間中の最高役職歴

常勤監査役

武村 文雄

Fumio Takemura

1973年 日本アイビーエム株式会社 入社

2004年 日本アイビーエム株式会社 執行役員

悦章

2007年 日本アイビーエムサービス株式会社 専務取締役

2008年 株式会社JALインフォテック 代表取締役社長

2011年 日本アイビーエム株式会社 顧問

2014年 東京都市大学 知識工学部 非常勤講師

2018年 当社常勤監査役

監査役(非常勤)

粟田 敏夫

Toshio Awata

1972年 三井物産株式会社入社

2007年 三井物産株式会社 常務執行役員 中部支社長

2015年 当社 監査役

┏╆╶╈╱╖<u>/</u>┪╊╩╅╅

高橋 直樹

Naoki Takahashi

1985年 日産自動車株式会社 入社

1993年 米国ニューヨーク州弁護士資格取得

1995年 ホワイト&ケース法律事務所 東京オフィス 入社

2001年 アメリカンインターナショナルグループ株式会社 入社

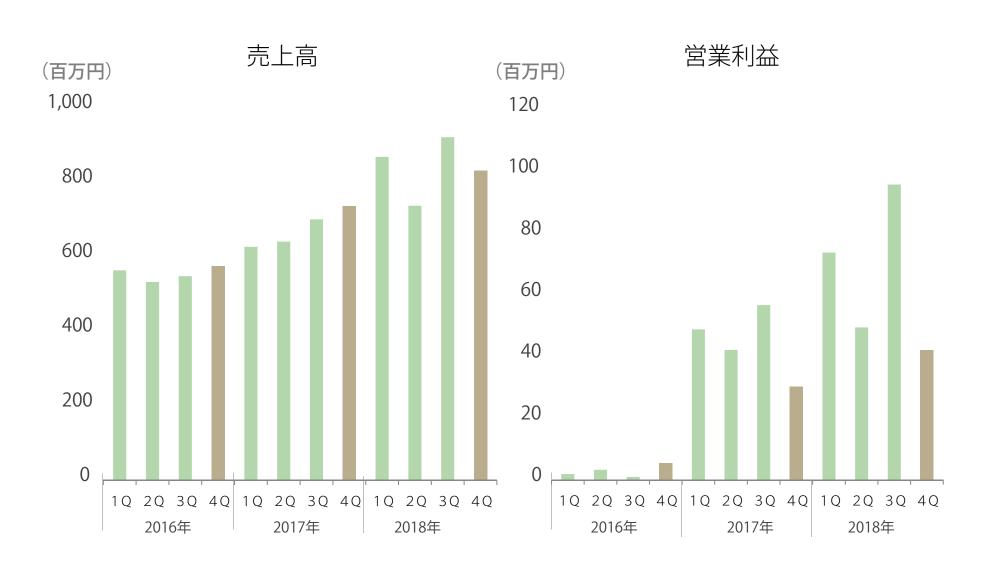
2009年 AIGジャパン・ホールディングス株式会社

取締役 常務執行役員

2016年 当社 監查役

# 連結売上高•連結営業利益推移





### IR/PR活動(2018年10月~12月)



### 認知度アップへ向け、セミナー登壇、番組出演など積極的に活動中

- 2018.10.01 「改革活動の実効性と効果を高める方法」第13回 BPMフォーラム2018に登壇
- 2018.10.03 日本インタビュ新聞に当社に関する記事が掲載
- 2018.10.04 LTSがRPAツール「UiPath」の開発リソースパートナーに認定
- 2018.10.12 「ビジネスアーキテクトが組織のアジリティを高める」IIBA日本支部10周年記念イベントに登壇
- 2018.10.16 Microsoft Azure向けIoTプラットフォームを提供するアジュールパワー株式会社との協業を開始
- 2018.10.17 日本インタビュ新聞に当社に関する記事が掲載
- 2018.10.22 株式会社時事通信社へのサービス提供事例を公開
- 2018.10.24 グループ企業の株式会社アサインナビが提供するITビジネスコミュニティの個人会員登録数が3,500名を突破
- 2018.11.01 「プロセス変革」のサービスページを公開
- 2018.11.05 日本インタビュ新聞に当社に関する記事が掲載
- 2018.11.07 個人投資家向け説明会開催のお知らせ
- 2018.11.08 グループ企業の株式会社アサインナビがIT業界最大級の経営者交流イベントを開催
- 2018.11.09 ビジネスプロセスマネジメントの入り口を学べる体験できる1日研修「ビジネスプロセス改革入門セミナー」
- 2018.11.09 グループ企業の株式会社アサインナビが第1回アサインナビユーザー会を開催
- 2018.11.19 「スタートアップ×AI/テクノロジー企業のソリューション活用」第3回 AI&ロボティクスシンポジウムに登壇
- 2018.11.21 日本インタビュ新聞に当社に関する記事が掲載
- 2018.11.27 株式会社GRCSとガバナンス・情報セキュリティ分野で業務提携
- 2018.11.28 取引実績ページを更新
- 2018.12.07 日本インタビュ新聞に当社に関する記事が掲載

### 免責・注意事項



### 免責事項

- ▶ 本資料は皆様の参考に資するため、株式会社エル・ティー・エス(以下、当社)の財務情報、経営指標等の提供を目的としておりますが、内容についていかなる表明・保証を行うものではありません。
- ▶ 本資料に記載された内容は、現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

### 将来見通しに関する注意事項

- ▶ 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」 (forward-lookingstatements)を含みます。これらは、現在における見込み、 予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは 異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- ▶ それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨 為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- ▶ 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に 含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

